

令和6（2024）年度

福山大学大学院工学研究科

（ 修士課程，博士前期課程 ）

学 生 募 集 要 項

9 月 入 学



福 山 大 学

目次

| | |
|---|---|
| 工学研究科の目的..... | 1 |
| 工学研究科（物理系）修士課程 | |
| 電子・電気工学専攻, 建築学専攻, 情報処理工学専攻, 機械工学専攻 | |
| ディプロマ・ポリシー（修了要件・学位授与の方針） | 1 |
| カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針） | 1 |
| アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針） | 2 |
| 工学研究科（生命系）博士前期課程 | |
| 生命工学専攻 | |
| ディプロマ・ポリシー（修了要件・学位授与の方針） | 2 |
| カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針） | 2 |
| アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針） | 3 |
| 令和6年（2024）年度 福山大学大学院工学研究科 （修士課程, 博士前期課程）学生募集要項〔9月入学〕 | |
| 1. 募集人員..... | 4 |
| 2. 出願資格..... | 4 |
| 3. 出願期間及び出願書類提出先 | 5 |
| 4. 出願手続..... | 5 |
| 5. 選抜方法..... | 6 |
| 6. 合格発表..... | 7 |
| 7. 入学手続..... | 7 |
| 8. 納付金..... | 7 |
| 9. 注意事項..... | 7 |
| 10. 障害のある受験生への支援について..... | 7 |
| 11. 福山大学大学院工学研究科の指導教員と研究分野・研究内容 | 8 |

福山大学大学院工学研究科（修士課程・博士前期課程）

教育目的, ディプロマ・ポリシー, カリキュラム・ポリシー, アドミッション・ポリシー

工学研究科の目的

修士課程又は博士前期課程においては、物理系工学又は生命系工学分野における広範な学識及び先端技術等を修得し、高いコミュニケーション能力を養うことにより知識基盤社会を支える専門技術者・実践的指導者として活躍できる人材を養成する。

工学研究科（物理系）修士課程

電子・電気工学専攻, 建築学専攻, 情報処理工学専攻, 機械工学専攻

ディプロマ・ポリシー（修了要件・学位授与の方針）

知識基盤社会を支える専門技術者として活躍できる人材となるための、工学分野の基礎・応用に関する広範な知識及び先端技術を修得し、研究遂行能力、研究発表能力、論文作成能力を有していること。具体的には以下の力を獲得していること。このような要件を満たし、工学研究科の特論を履修し、基準となる単位を修得し、必要な研究指導を受けた上で修士論文を提出し、審査及び最終試験に合格した者に修了を認定し、修士（工学）の学位を授与する。

1. 工学的諸問題に対して積極的に取り組み、独創的な発想ができる。
2. 高度専門技術者に必要な先端技術を修得し、それを活用できる。
3. 高度専門技術者に必要なコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を修得し、それを活用できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

研究科のディプロマ・ポリシーである、知識基盤社会を支える専門技術者として活躍できる人材の育成を目指して、工学分野の基礎・応用に関する広範な知識及び先端技術、研究遂行能力、研究発表能力、論文作成能力の修得が可能となるよう、次のような3つのワークのもとでカリキュラムを編成し、実施する。各ワークに対応して、能動的学修を主体的に行い、パフォーマンスレベルに合わせてその学修成果を評価する。

コースワーク

1. 基礎科目の特論を通して専門基礎の知識を修得する。
2. 専門科目の特論を通して専門分野を幅広い視点でとらえ課題の位置づけ、解決方法などを修得する。

リサーチワーク

1. 特別演習と特別研究を通して研究遂行能力を身に付け工学的諸技術を修得する。
2. 研究成果を国内外で発表し、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を修得する。

キャリアワーク

1. 知的財産論や特別講義などを通して知的財産の意義と重要性を理解する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

福山大学大学院工学研究科修士課程は、工学分野における広範な学識及び先端技術を修得することにより知識基盤社会を支える専門技術者として活躍できる人材を養成するために、次のような資質・能力を有する人を求めている。

1. 工学的諸課題に対して、高い関心を有し、課題に意欲的に取り組む人
2. 高度専門技術者の育成に必要な幅広い知識と科学的思考力を有する人
3. 高度専門技術者に必要なコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を有する人

工学研究科（生命系）博士前期課程

生命工学専攻

ディプロマ・ポリシー（修了要件・学位授与の方針）

博士前期課程

生命科学分野における高度専門技術者として活躍できる人材となるための、生命科学分野の基礎・応用に関する広範な知識及び先端技術を修得し、研究遂行能力、研究発表能力、論文作成能力を有していること。具体的には、以下の力を獲得していること。このような要件を満たし、さらに所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文を提出したのち、研究科の行う最終審査に合格した者に、修了を認定し、修士（生命科学）の学位を授与する。

1. 生命科学的諸課題に対して積極的に取り組み、独創的な発想ができる。
2. 高度専門技術者・実践的指導者に必要な先端技術を修得し、それを活用できる。
3. 高度専門技術者・実践的指導者に必要なコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を修得し、それを活用できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

研究科のディプロマ・ポリシーである、高度専門技術者・実践的指導者として活躍できる人材の育成を実現するために、3つのワークのもとでカリキュラムを編成し、実施する。各ワークに対応して、能動的学修を主体的に行い、パフォーマンスレベルに合わせてその学修成果を評価する。

コースワーク

1. 基礎科目の特論を通して分野及び学系を超えて幅広い共通知識を修得する。
2. 専門科目の特論を通して各分野の専門に即した高度な学術知識を修得する。

リサーチワーク

1. 特別演習、特別研究を通して最新の先端技術を修得する。
2. 研究成果をまとめ、学会発表などを行うことを通して科学論文作成能力やプレゼンテーション能力並びにコミュニケーション能力を養う。

キャリアワーク

1. 総合技術マネジメント系の特論を通して知的財産を生み出し、危機管理できる能力を養う。
2. 前期・後期一貫した博士課程教育として、生命工学専攻博士後期課程ではリサーチワーク1、及び2. をこの期間に徹底的に行い、産官学の中核人材として活躍できる高度な人材を養成するための教育を行う。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

福山大学大学院工学研究科（生命系）博士前期課程は、生命科学分野における広範な学識及び先端技術を修得することにより高度専門技術者として活躍できる人材を養成するために、次のような能力を有する者を求めている。

1. 生命科学的諸課題に高い関心を有し、問題解決に意欲的に取り組む能力を有する人
2. 高度専門技術者・実践的指導者の育成に必要な幅広い知識と科学的思考力を有する人
3. 高度専門技術者・実践的指導者に必要なコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を有する人

令和6（2024）年度 福山大学大学院工学研究科（修士課程、博士前期課程）

学生募集要項〔9月入学〕

1. 募集人員

| 専攻名 | 募集人員 | |
|-----------|------|--------|
| | 修士課程 | 博士前期課程 |
| 電子・電気工学専攻 | 若干名 | — |
| 建築学専攻 | 若干名 | — |
| 情報処理工学専攻 | 若干名 | — |
| 機械工学専攻 | 若干名 | — |
| 生命工学専攻 | — | 若干名 |

※志願者は、出願前に志望する指導教員の研究分野及び研究内容等の確認後、指導教員の承諾を得てください。
指導教員と研究分野・研究内容の一覧表は本募集要項の最後に掲載しています。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者又は令和6年9月15日までに卒業見込みの者(学校教育法第102条)
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は令和6年9月15日までに授与される見込みの者(学校教育法第104条第4項)
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和6年9月15日までに修了見込みの者(学校教育法施行規則第155条第1項第2号)
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和6年9月15日までに修了見込みの者(学校教育法施行規則第155条第1項第3号)
- (5) 我が国において、外国の大学相当の課程として指定された外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者又は令和6年9月15日までに修了見込みの者(学校教育法施行規則第155条第1項第4号)
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和6年9月15日までに授与される見込みの者(学校教育法施行規則第155条第1項第4号の2)
- (7) 指定された専修学校の専門課程(文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧)を修了した者又は令和6年9月15日までに修了見込みの者(学校教育法施行規則第155条第1項第5号)
- (8) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号)
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、その後に入学者を本学大学院において大学院の教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和6年9月15日までに22歳に達したもの(学校教育法施行規則第155条第1項第8号)

(11) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められたもの

注：出願資格の(9)～(11)により出願する者は、個別出願資格審査が必要となります。

3. 出願期間及び出願書類提出先

(1) 出願期間（期間内必着）

令和6年5月31日（金）から令和6年6月14日（金）まで

注1）出願書類を持参する場合の受付は、9：00から16：00時までとします。

（ただし、土曜日・日曜日・祝日は、受け付けしません。）

注2）郵送の場合は、簡易書留郵便とし、出願期間内に必着するよう送付してください。

(2) 出願書類提出先

〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵

福山大学工学部・生命工学部事務室大学院入試担当（2・3・4号館1階）

（電話084-936-2111（内線4125, 4120）、084-936-1674（直通））

4. 出願手続

(1) 出願書類等

| | |
|-------------------------|--|
| ① 入学願書・受験票 | 本学所定の様式を使用してください。 |
| ② 卒業（見込）証明書 | 出身学校において作成し、厳封したもの ※外国語で作成している場合は日本語訳を添付してください。 |
| ③ 成績・単位修得証明書 | 出身学校又は学部長等が作成し、厳封したもの ※外国語で作成している場合は日本語訳を添付してください。 |
| ④ 研究志望理由書 | 本学所定の様式を使用してください。 |
| ⑤ 健康診断書 ※障害がある場合のみ提出 | 以下の参考の事例に該当する志願者は、必ず出願する際に健康診断書（本学所定の様式による）を提出してください。なお、ご不明な点があれば、出願前に福山大学工学部・生命工学部事務室にご相談ください。 参考：視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱など <u>参考の事例に該当しない志願者は、提出の必要はありません。</u> 本学所定の様式：令和6年4月以降に保健所又は病院等の医師の証明した健康診断書を提出してください。ただし、本学の出身者については、福山大学健康診断書証明書をもって替えることができます。 |
| ⑥ 写真2葉 | 裏面に氏名を明記し、最近1か月以内に撮影した上半身・正面・脱帽の写真（縦4cm×横3cm）を入学願書及び受験票に貼付してください。 |
| ⑦ 宛名票 | 本学所定のものを使用してください。 合格通知等の送付に使用します。住所等変更があった場合は、速やかに連絡してください。 |
| ⑧ 検定料 | 30,000 円 本学所定の振込依頼書で銀行振り込みとし、「振込取組済証明書」を出願書類とともに必ず提出してください。 ただし、協定大学から受験する場合は、検定料を免除します。 |

| | |
|-------------------------|---|
| ⑨ 身元保証書※ | 身元保証人は日本に在住している日本人で、身元保証書には身元保証人の印鑑証明と同一の印を押印し、印鑑証明を添付してください。 |
| ⑩在留カード(写)又は外国人登録証明書(写)※ | 在留カード(写)には在留カード番号を明記し、外国人登録証明書(写)には、外国人登録証明書番号を明記してください。 |

※上記⑨と⑩は、外国人留学生のみ必要です。

(2) 出願に当たっての留意事項

- ①出願書類の不備なものは受理しませんので、記載事項に記入漏れ、誤記のないよう十分注意してください。
- ②一度提出した出願書類及び検定料は、理由の如何を問わず返却しません。
- ③出願後、入学願書の記載事項に変更があった場合は、速やかに連絡してください。

5. 選抜方法

入学者の選抜は、学力試験〔基礎科目と専門科目〕及び面接の結果と、出願書類を総合して行います。

(1) 学力試験等実施日時

| 専攻名 | 期日 | 令和6年6月27日(木) | | |
|-----------|---|---|----------|----|
| | 科目 | 基礎科目 | 専門科目 | 面接 |
| 電子・電気工学専攻 | (10:00~12:00) 外国語(英語) 数学 (辞書持込み不可) | (13:00~15:00) 電気磁気学, 電気回路 | (15:30~) | |
| 建築学専攻 | (10:00~12:00) 外国語(英語) 小論文 (英和辞書持込み可 ただし、電子辞書は不可) | (13:00~16:00) (A)又は(B)を選択 (A): 建築計画, 建築設計, 建築環境, 建築構造, 建築構法の 5科目の中から3科目を選択。 (B): 建築設計実技試験 | 16:10~ | |
| 情報処理工学専攻 | (10:00~12:00) 外国語(英語)※1 数学 ※2 (英和辞書持込み可 ただし、電子辞書は不可) ※1 令和7(2025)年度より外国語(英語)を出願時に提出された TOEIC® L&R テストのスコアにより評価します。 ※2 令和7(2025)年度より数学は実施しません。 | (13:00~15:00) プログラミング, データ構造とアルゴリズム, オペレーティングシステム, コンピュータアーキテクチャ, コンピュータネットワーク, データベースシステムの6科目の中から3科目を選択※ ※令和7(2025)年度より事前に提出された本学入学前の研究志望理由書と本学入学後の研究計画の口頭発表と口頭試問により評価します。また事前に提出された情報処理技術者試験の資格の有無を考慮します。 | (15:30~) | |

| | | | |
|--------|--|---|----------|
| 機械工学専攻 | (10:00~12:00) 外国語(英語) 数学 (辞書持込み不可) | (13:00~15:00) 材料力学, 熱力学, 流体力学, 機械力学, 制御工学, 機械設計の6 科目の中から3科目を選択 (関数電卓持込み可) | (15:30~) |
| 生命工学専攻 | (10:00~11:40) 外国語(英語) (英和辞書持込み可 ただし, 電子辞書は不可) | (13:00~15:00) 生態学, 生理学, 微生物学, 生化学, 分子生物学, 栄養・食品学の6科目 の中から2科目を選択 | (15:30~) |

(2) 試験場所

福山大学(広島県福山市学園町1番地三蔵)

※ 試験当日, 工学部・生命工学部事務室(2・3・4号館1階)で試験会場を確認し, 試験開始30分前までに受験票を携帯の上, 入室してください。

6. 合格発表

令和6年7月8日(月)10:00に, 工学部・生命工学部事務室前(2・3・4号館1階)の掲示板に掲示するとともに, 合格者には, 本人宛に通知します。

なお, 電話等による合否の照会には応じられません。

7. 入学手続

合格発表日から令和6年7月22日(月)までの間に, 入学手続書類を整えて関係部署へ提出してください。

※入学手続時に保証書の提出が必要となります。

8. 納付金〔参考:令和6年度分〕

(1) 入学金 200,000円

(※本学に在学の学部生がそれぞれの大学院修士課程(含博士前期課程)へ進学する場合, 入学金は全額免除となります。)

(2) 授業料 半期分425,000円(年額850,000円)

(3) 受託徴収金 15,000円(内訳:学友会費5,000円 後援会費10,000円)

9. 注意事項

(1) 受験者は, 試験当日には必ず受験票を持参してください。

(2) 受験票を紛失した場合は, 工学部・生命工学部事務室大学院入試担当(2・3・4号館1階)に申し出て, 指示を受けてください。

(3) 本学に一旦受理された出願書類, 入学検定料及び入学金は理由の如何を問わず返還しません。

ただし, 諸納入金納入後に入学を辞退する場合は, 令和6年9月4日(水)までに申し出た場合に限り, 入学金を除いた額(授業料・学友会費・後援会費)を返還します。

10. 障害のある受験生への支援について

障害のある学生の受験及び入学後に必要となる支援については、相談窓口「学務部教務課」にお問い合わせください。

学務部教務課 Tel084-936-2112（内線2211, 2212）

個人情報取扱いについて

本学では、出願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格者発表、入学手続及びこれらに付随する業務のためにのみ利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。

11. 福山大学大学院工学研究科の令和6(2024)年度指導教員と研究分野・研究内容

連絡先や詳しい研究内容等については福山大学研究者情報

<http://www.fukuyama-u.ac.jp/faculty/>

を参照してください。

電子・電気工学専攻（修士課程）

| 教員名 | 職位 | 研究分野 | 研究内容 |
|----------|-----|--------------------|--|
| 仲嶋 一 | 教授 | 計測工学, 光波応用技術 | センサ工学, 光応用工学, 電磁気応用工学 |
| 香川 直己 | 教授 | 電子機器学 | レーザーによる温室効果ガスおよびエアロゾルのハイブリッド・ネットワーク スマートセンシングに関する研究他 |
| 歌谷 昌弘 | 教授 | 電力工学, 発電電工学 | 統合的電力系統解析支援システムの構築に関する研究。 温度環境制御, ICT 利用システム等の研究 |
| 菅原 聡 | 教授 | パワーエレクトロニクス, 集積回路 | スイッチング電源, パワーIC, パワーマグネティクス |
| 田中 聡 | 准教授 | 電子工学, 無線工学, ロボット工学 | ワイヤレス給電, 誘電体アンテナ, コミュニケーションロボット |
| ※1 関田 隆一 | 准教授 | マネジメント, 宇宙機推進系他 | 複雑システムの安全・信頼性・品質統合解析, 他 |
| 関根 康史 | 准教授 | 交通機械工学, 人間工学 | 自動車の安全性, 交通環境の改善, 無人航空機の安全 |
| 沖 俊任 | 准教授 | 制御工学, メカトロニクス | 適応制御系の設計法, 学習制御系の設計法, レスキューロボット関連の開発 |
| 伍賀 正典 | 准教授 | ロボティクス, 人工知能, 計算知能 | 進化型スワムロボティクスの行動解析, 柔軟樹脂を用いた触覚センサ |

建築学専攻（修士課程）

| 教員名 | 職位 | 研究分野 | 研究内容 |
|----------|-----|----------------------|---|
| ※1 都祭 弘幸 | 教授 | 建築構造, コンクリート構造, 耐震構造 | RC 造部材の実験的研究・解析的研究 木質ハイブリッド部材に関する研究他 |
| 梅國 章 | 教授 | 建築生産, 材料施工, 建築構造 | 建築生産におけるアーキテクチャーの研究, モジュール化、標準化の研究, 鉄骨生産の合理化に関する研究, 鉄骨接合部の研究 |
| 藤谷 秀雄 | 教授 | 社会基盤, 構造工学, 地震工学 | 免震構造、制振構造の高度化による損傷制御と継続使用性能の向上に関する研究 |
| 藤原 美樹 | 教授 | 建築歴史・意匠 | 西村伊作研究, 大原孫三郎の文化的交流に関する研究他 |
| 河口 佳介 | 教授 | 建築計画, 建築設計, 環境計画 | 自然環境における建築の在り方, 未来のサステナブル建築, ランドスケープと高床式現代建築の在り方 |
| 佐藤 圭一 | 教授 | 建築史, 都市・地域計画史 | 地域生活空間の計画とその形成・変容・転成・保全 |
| 佐々木 伸子 | 准教授 | 建築計画, 住宅計画 | 学校施設, 特別支援教育, 高齢者住宅, 住教育等 |
| 伊澤 康一 | 准教授 | 建築環境学 | パッシブ建築外皮と整合する建築設備に関する研究他 |
| 山本 一貴 | 講師 | 建築計画学 | 近代における欧州と日本の建築理論とデザイン等 |
| 酒井 要 | 助教 | 建築計画, 地域施設計画 | 地方都市における地域施設計画に関する研究、複合型公共施設の計画に関する研究、備後地方の伝統的共有空間「辻堂」に関する研究 |

情報処理工学専攻（修士課程）

| 教員名 | 職位 | 研究分野 | 研究内容 |
|----------|-----|---------------------|-----------------------------------|
| ※1 山之上 卓 | 教授 | 情報工学 | 分散システム, IoT, 教育支援システム, テレポーテーション他 |
| 尾関 孝史 | 教授 | 知能情報学 | 画像の復元に関する研究他 |
| 金子 邦彦 | 教授 | 情報学, 計算機システム・ネットワーク | 多次元空間データベース他 |
| 池岡 宏 | 教授 | コンピュータビジョン | 距離推定, ぼけ量推定, 3次元復元他 |
| 中道 上 | 教授 | ソフトウェア工学, HCI | 人間行動の解析, 画面設計の評価, 要求の抽出 他 |
| 今井 勝喜 | 准教授 | 自然計算 | セル・オートマトン, 認知能力変動に対処するシステム, 他 |
| 宮崎 光二 | 准教授 | 知能情報学, ソフトウェア | 出席管理システムの提案・開発他 |

| | | | |
|-------|----|-------------|---------------------------|
| 森田 翔太 | 講師 | 音声信号処理 | 音声区間検出, 会話の盛り上がりの定量化 他 |
| 天満 誠也 | 助教 | 知能情報学, 統計科学 | 機械学習を用いたメールフィルタリング |

機械工学専攻 (修士課程)

| 教員名 | 職位 | 研究分野 | 研究内容 |
|--------|-----|-------------------|--|
| 真鍋 圭司 | 教授 | 計算力学, 材料力学, 材料強度学 | 有限要素法, 計算力学, 計算切削工学 |
| 坂口 勝次 | 教授 | 伝熱工学 | 対流熱伝達の促進・制御 |
| 木村 純壮 | 教授 | 制御工学, メカトロニクス | むだ時間システムのH ∞ 制御/ロバスト制御・状態予測器, 応答振幅を考慮する有限時間整定制御, 省エネルギー最適制御 |
| 加藤 昌彦 | 教授 | 機械材料・材料力学 | 表面処理, 機械的性質 |
| 中東 潤 | 准教授 | 材料工学 | 金属材料の高性能化に関する研究 |
| 中村 格芳 | 准教授 | 機械加工, 材料加工 | 脆性材料の高効率化, 加工メカニズムに関する研究他 |
| 金谷 健太郎 | 講師 | 流体力学 | 混相流, 太陽熱発電 |

生命工学専攻 (博士前期課程)

| 教員名 | 職位 | 研究分野 | 研究内容 |
|-----------|----|---------------------------|----------------------------------|
| ※2 山口 泰典 | 教授 | 動物細胞工学, 発生生物学 | 毛根由来正常細胞の培養と初期化条件の研究他 |
| 山本 寛 | 教授 | 生化学, ワイン科学, 植物栽培 | 脂肪酸の新しい代謝経路の確立他 |
| 久富 泰資 | 教授 | 進化生物学, 分子生物学, 微生物学, 多様性生物 | 酵母の種多様性に関する基礎的及び応用的研究他 |
| 岩本 博行 | 教授 | 生化学, 生物物理学 | 酵素タンパク質の構造と機能他 |
| 松崎 浩明 | 教授 | 分子生物学, 生物工学 | 染色体の核内収納メカニズムの解明他 |
| 太田 雅也 | 教授 | 生物化学 (糖鎖工学), 環境分析学 | 複合糖質の構造と機能解析他 |
| 広岡 和丈 | 教授 | 分子生物学, 分子遺伝学, 微生物学 | 根圏土壤に含まれる物質に応答した, 枯草菌での転写応答機構の研究 |
| 佐藤 淳 | 教授 | 進化生物学, 生態学 | ゲノム情報を用いた哺乳類の進化と生態に関する研究他 |
| ※2 井ノ内 直良 | 教授 | 糖質科学 | 米胚乳澱粉の構造と物性に関する研究他 |
| 菊田 安至 | 教授 | 生化学, 脂質生化学 | ω 酸化酵素P450の解析他 |
| 伊丹 利明 | 教授 | 魚介類疾病学, 魚介類生体防御学 | 魚類 (観賞魚を含む) と甲殻類の疾病とその防除法に関する研究 |
| 満谷 淳 | 教授 | 水圏環境保全学, 水圏微生物学 | 微生物を用いた赤潮防除技術に関する研究他 |
| 三輪 泰彦 | 教授 | 分子生物学 | 紅藻スサビノリの環境適応機構の解明他 |
| ※2 有瀧 真人 | 教授 | 水産増養殖学 | 人工種苗生産過程における健全性と卵質の検討他 |

福 山 大 学

〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵

TEL(084)936-2111(代)